

群馬県みなかみ町と 友好都市提携協定を 締結



天神平より谷川岳を望む

谷川岳…群馬・新潟の県境にある三国山脈の山。みなかみ町を象徴する山で、日本百名山にも数えられています。

友好都市提携の内容

1. 両町間の人々の交流
2. 産業交流並びに観光の振興に関する交流
3. 歴史、教育、文化、芸術に関する交流
4. 災害時の相互応援
5. その他両町の友好関係推進に必要な事業

伊奈町とみなかみ町は、平成17年から両町の観光協会を通して友好を深め、これまで交流を積み重ねてきました。今後はこれらの交流の背景を踏まえ、更なる友情と信頼を深め相互の発展が長く続くことを目的とし、友好都市提携協定を締結することとなりました。

友好都市提携に至る経緯



協定書に署名をする
大島町長

9月29日、伊奈町長およびみなかみ町長をはじめとする関係者列席のなか、みなかみ町で友好都市提携協定を締結しました。当町にとっては、つくばみらい市に続き二例目となります。今後、さまざまな交流を図りながら、相互の発展に努めます。

みなかみ町の概要



平成17年10月1日に月夜野町・水上町および新治村の合併により、現在のみなかみ町が誕生しました。

みなかみ町は、雄大な自然環境を活かした、スキー、登山およびラフティングをはじめとする多くのアウトドアスポーツが盛んです。

平成29年6月、その自然環境と、自然を守り、人との共生を目指していくという取り組みが世界に認められ、ユネスコエコパークに登録されました。



提供：(南)東洋プロセス



みなかみ町は温泉地としても有名で、多種多様な18の温泉地は「みなかみ18湯」として人気を博しており、アウトドアスポーツとともに観光の目玉となっています。

利根川源流のまち 水と森林と人を育む みなかみユネスコエコパーク



ユネスコエコパーク：正式名を生物圏保存地域（BR：Biosphere Reserves）といい、1976年（昭和51年）に開始されたユネスコ人間と生物圏（MAB：Man and the Biosphere）計画のプロジェクトの一つで、日本では親しみやすいように「ユネスコエコパーク」と呼ばれています。

世界自然遺産が手つかずの自然を守ることを原則とするのに対し、ユネスコエコパークは自然と人間社会の共生を目的とする取組みです。

• 2017年6月14日現在、120か国669か所が登録されており、日本国内ではみなかみユネスコエコパークを含め、9か所が登録されています。



魅力あふれる♪ みなかみユネスコエコパーク



- ① 谷川岳山頂から望む谷川連峰／② アウトドアスポーツ（利根川でのラフティング）／③ 農村の景観や文化が息づく「たくみの里」／④ 利根川最初の一滴を生み出す大水上山



お得な料金でみなかみ町を満喫!!



伊奈町観光協会では、町内在住・在勤者を対象に、みなかみ町の宿泊・アウトドア施設等の通常料金を割引するサービスを実施しています。この機会にみなかみ町の雄大な自然にふれ合ってみませんか？